

関西大学新コンビニ

～ウォークインスルー型コンビニを活用した
関大の新たな魅力～



須賀・田中・並木・福塚・RYO



目次

- 現状の課題：学生目線の関大の問題
- 解決策：コンビニを「創る」
- システムについて
- メリット・デメリット
- 実例
- 今後の展望：学内における技術開発

現状の課題：学生目線の関大の問題

構内コンビニの混雑がひどい

➡購入に10分以上かかることも

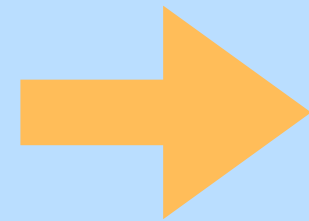
Ex) 教室➡コンビニ➡食べる場所の移動

昼休みの半分ほどを使うことも

解決策：コンビニを「創る」

【混雑を解消して、誰もが使いやすいコンビニの設置】

クレジット、バーコード決済を活用
した無人店舗でスムーズな買い物



回転率を上げ、
「すぐ入れる、すぐ買える、すぐ出れる」を実現

【考える効果】

技術を新たに開発することで
大学のアピール

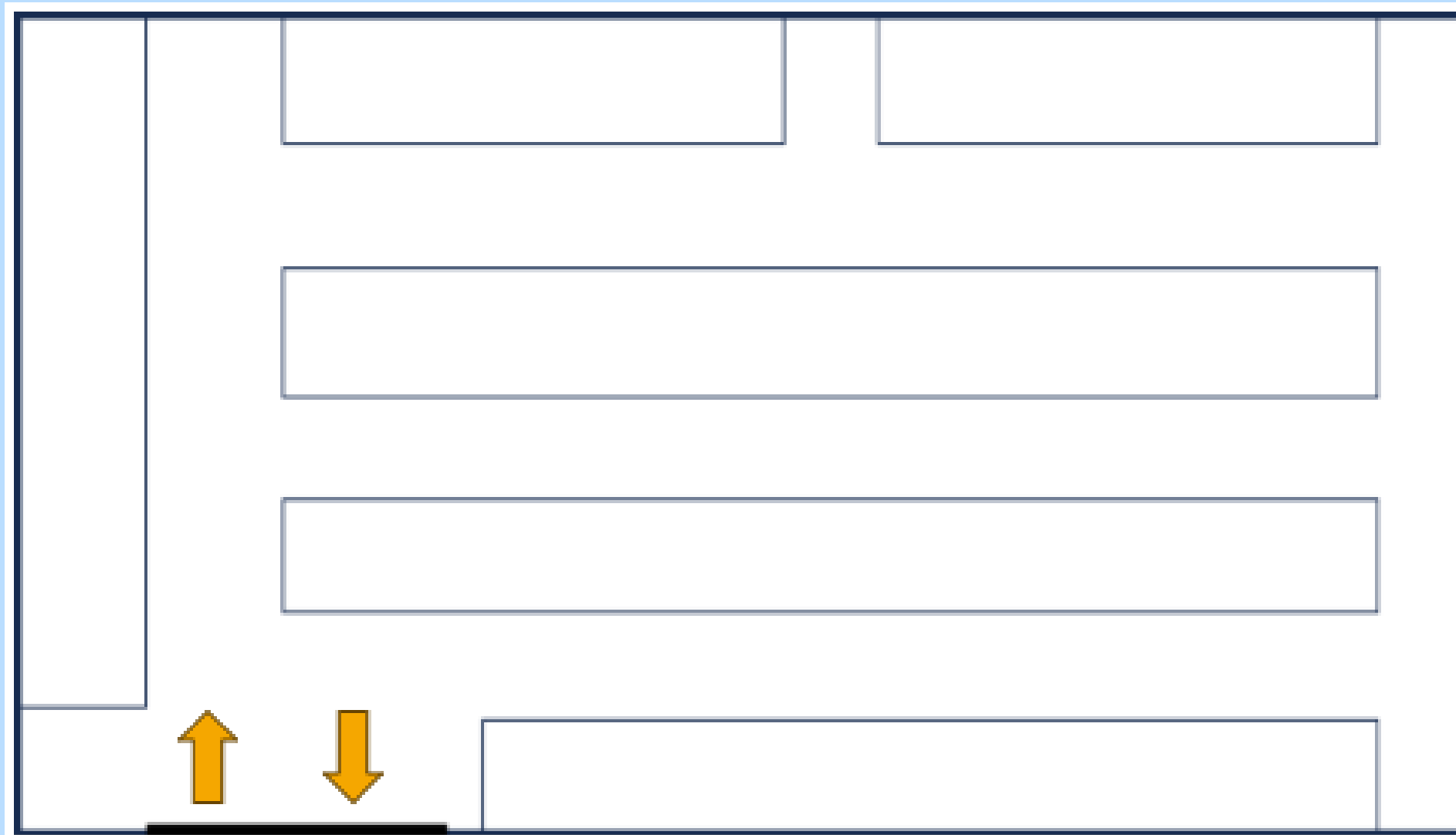
システム理工、BDC学部（2025～）等

学校の研究力の発展に寄与

「学生のアイデアが実現できる大学」

↓
ブランド力の向上

システムについて



*イメージ

①出入口にあるQRコードを読みと取って、入店
= 「買い物の開始」

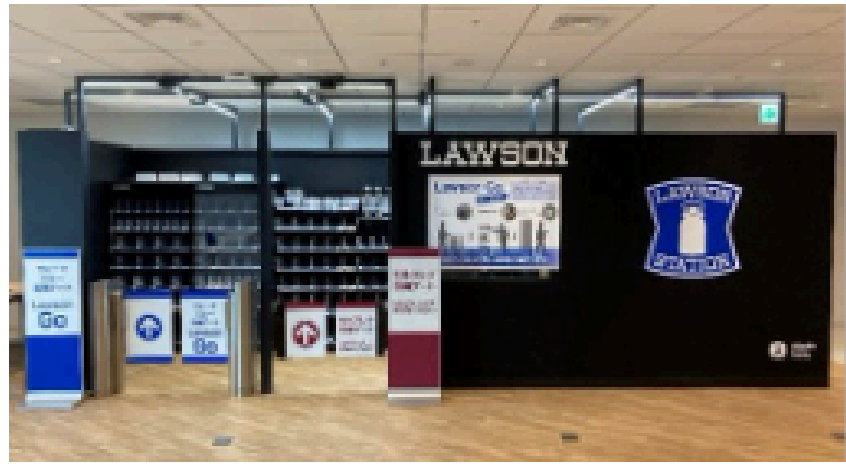
②独自開発の商品付属チップを、
手元のスマートフォンなどで読み取っていく
= 「カゴに入れる」

③出口にあるQRコードを読み取ることで
退店&決済が完了
= 「買い物の終了」

メリット・デメリット

メリット	デメリット
混雑解消	初期費用（開発費、諸々）
時間短縮	セキュリティ対策
運営効率の向上	キャッシュレスへの抵抗
柔軟な営業時間	
技術力のアピール	
学生の実習の場（技術開発の場）	
地域貢献・産学連携	

実例

	セブンイレブン	ファミリーマート	ローソン
コンビニ名		ファミマ!!サピアタワー/S店	Lawson Go MS GARDEN店
開発企業		株式会社TOUCH TO GO	NTTデータ・Cloudpick
システム	チップ	重量センサー 天井カメラ	重量センサー 天井カメラ
形式	ウォークスルー型	セルフレジ型	ウォークスルー型
実際の写真			

ローソンの実例



龍谷大学での導入事例



龍谷大学瀬田キャンパス
ファミリーマート龍谷大学店
2023年8月25日開店

今後の展望：学内における技術開発

- 1 学生からの意見収集・現状を知る
→ 無人レジが必要か、スマートフォン完結型で良いかなど。
- 2 敷地・スペースの確保
→ 既存の施設に影響を与えず、かつ利用率の高い場所を。
- 3 設置にあたって、より本学にメリットのある提携先の選定
→ 学校側が支払うことで発生する支出や提携にあたる契約料など。

THANK
YOU

